

令和4年6月13日

盛岡市議会議長 様



紹介議員

豊村徹也

住所

岩手県盛岡市

氏名 政策立案有志市民会 安部茂樹

連絡先



請願第 7 号

mRNA ワクチン接種時のインフォームド・コンセントのガイドライン策定に関する請願

請願 要旨

- 1 新型コロナ感染対策として、現在推奨されている mRNA ワクチン（以下、ワクチンと表記）について、本来接種者に集計すべき人数を未接種者に集計していた統計方法を適正化し再集計した結果、ワクチン接種に感染予防効果がないばかりか、接種者の方が感染しやすい事実が 2022 年 5 月 11 日の厚労省専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード」で明らかになった。
- 2 岩手県の統計資料によれば、岩手県内の陽性者の 8 割がワクチン接種者である。
- 3 高齢者や基礎疾患のある方、妊婦などハイリスク群に関しては、特例承認時の国内治験において、二重盲検はおろか治験そのものが行われていないことに加え、交接種の有効性および安全性について、メーカーが検証していないにも関わらず、行政は推奨している。
- 4 当初期待された感染予防効果がないことが明らかになった現在、重症化予防を目的として、国内治験時と異なる変異株に対して、ワクチン接種を推奨している。
- 5 しかし、大阪府（人口 878 万人）の統計によると大部分の世代で有意差は 0～0.2%（重症者の実数は、世代別で 0 人～最大 14 人）であり、重症化の有無がワクチンに直接起因しているかの根拠は不明である。
- 6 上記のような実態に加え、心筋炎や脳血栓、ADE、抗原原罪に代表される重大な副反応の発現率について、従来型ワクチンと比較にならない高さであることを知らない市民が接種を希望する際、接種する医師によって提供される情報に差が生じた結果、適正かつ十分なインフォームド・コンセントが実施されていれば接種を希望しない市民に対し、情報提供が不十分であれば、本意に反して医療従事者に接種同意を与えてしまう可能性が否定できない。
- 7 盛岡市として、インフォームド・コンセントのガイドラインが策定されていない以上、接種する医療従事者は常に希望者から、インフォームド・コンセント違反の訴訟リスクないし保健所による違反摘発のリスクを回避できない。

上記を踏まえて、以下の通り、市民と医療従事者の保護の観点から、ワクチン接種時のインフォームド・コンセントのガイドライン策定に関して、請願します。

請願 事項

- 1 市民の健康を最優先したインフォームド・コンセントのガイドラインを策定すること
- 2 策定にあたって、周知徹底し、違反した場合の行政処分を明確化すること
- 3 医療の専門家ではない市民の保護を最優先し、医療従事者の過失、重過失、説明責任の不履行によって市民の健康が損なわれないように周知徹底監督すること
- 4 策定にあたって、特に未成年、高齢者、基礎疾患のある方、妊婦およびその家族に関して、インフォームド・コンセントの基準を厳格化し、医療情報弱者の保護をはかること。

以上

第76回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議

日時：令和4年5月18日（水）14時00分～

場所：大阪府本館1階 第1委員会室

次 第

議 題

- (1) 現在の感染状況・療養状況等
 - ・現在の感染状況について【資料1-1】
 - ・現在の療養状況について【資料1-2】
 - ・感染状況と医療提供体制の状況について【資料1-3】
 - ・滞在人口の推移【資料1-4】
 - ・(参考) 感染防止認証ゴールドステッカーについて【資料1-5】
- (2) 大阪府における感染拡大防止に向けた取り組み
 - ・府民等への要請【資料2-1】
 - ・専門家のご意見【資料2-2】
- (3) 大阪モデルについて
 - ・大阪モデルの見直しについて【資料3-1】
 - ・大阪モデル「警戒解除」への移行（緑色信号点灯）について【資料3-2】
 - ・専門家のご意見【資料3-3】

報 告

- (4) その他
 - ・今後の感染拡大に備えた医療・療養体制の考え方について【資料4-1】
 - ・第六波を上回る感染拡大を見据えた病床の考え方について【資料4-2】
 - ・新型コロナ要介護高齢者に対応する医療施設・病床の整備について【資料4-3】
 - ・新型コロナウイルス感染症大阪府検査体制整備計画【改訂第3版】<概要>
【資料4-4】
 - ・医療機関による発生届のHER-SYS入力の促進【資料4-5】
 - ・大阪府「配食・パルスセンター」について【資料4-6】
 - ・新型コロナ患者の確保病床を有しない病院に対する感染対策支援体制の構築等の状況【資料4-7】
 - ・高齢者施設等の協力医療機関におけるコロナ治療対応促進【資料4-8】

新規陽性者数と重症・死亡例のワクチン接種歴（令和4年4月30日判明時点）

- ◆令和4年4月1日から4月30日に陽性判明した100,340名のうち、ワクチンを3回接種していた者は11,172名（11.1%）であった。60代以上の陽性者9,121名のうち、ワクチン3回接種済は3,851名（42.2%）であった。
- ◆ワクチン3回接種済11,172名のうち、重症化したものは10名、死亡した者は13名（重症例10名のうち、2名は死亡のため重複）。
- ◆20代以上におけるワクチン接種歴別の重症・死亡の割合は、未接種者に比べ、3回接種済の者の方が低かった。

4月 陽性 判明	全体の 新規陽性 者数 【A】	ワクチン接種あり（3回）						ワクチン接種あり（2回以下）						接種なし・不明					
		陽性者数 【B】	割合 【B/A】	重症 【C】	重症者の 割合 【C/B】	死亡 【D】	死亡者の 割合 【D/B】	陽性者数 【E】	割合 【E/A】	重症 【F】	重症者の 割合 【F/E】	死亡 【G】	死亡者の 割合 【G/E】	陽性者数 【H】	割合 【H/A】	重症 【I】	重症者の 割合 【I/H】	死亡 【J】	死亡者の 割合 【J/H】
未就学児	8,885	0	0.0%	0		0		0	0.0%	0		0		8,885	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
就学児	6,738	0	0.0%	0		0		29	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	6,709	99.6%	0	0.0%	0	0.0%
10代	16,063	166	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	5,788	36.0%	0	0.0%	0	0.0%	10,109	62.9%	0	0.0%	0	0.0%
20・30代	35,097	3,032	8.6%	1	0.0%	0	0.0%	14,512	41.3%	2	0.0%	0	0.0%	17,553	50.0%	1	0.0%	0	0.0%
40・50代	24,336	4,111	16.9%	0	0.0%	0	0.0%	10,041	41.3%	3	0.0%	0	0.0%	10,184	41.8%	3	0.0%	1	0.0%
60代以上	9,121	3,851	42.2%	9	0.2%	13	0.3%	1,901	20.8%	4	0.2%	23	1.2%	3,369	36.9%	14	0.4%	56	1.7%
調査中	100	12	12.0%	0	0.0%	0	0.0%	44	44.0%	0	0.0%	0	0.0%	44	44.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	100,340	11,172	11.1%	10	0.1%	13	0.1%	32,315	32.2%	9	0.0%	23	0.1%	56,853	56.7%	18	0.0%	57	0.1%

※陽性者のワクチン接種状況は保健所による聞き取りやHER-SYSデータに基づく（4月30日判明時点）

※重症者及び死亡者の割合について令和4年5月8日判明時点までの重症・死亡者数に基づく。今後、重症・死亡者数の推移により変動することに留意が必要。